

令和7年度薬局等勤務薬剤師に係る研修会実施要領

1 目的

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器等法」という。）をはじめ、薬事行政における薬局の最近の話題は多岐に渡っている。

近年、地域医療・介護の現場において、薬剤師と多職種との連携の重要性がますます高まっている。特に在宅医療やターミナルケアの分野では、訪問看護師との協働が不可欠であり、薬剤師には専門性を活かした薬剤管理や疼痛緩和ケアへの積極的な関与が求められている。

本研修会では、訪問看護師及び薬局薬剤師を講師に迎え、ロボット技術を活用した在宅での薬剤管理や、ターミナルケアの現場における連携の実例を紹介する。シンポジウム形式により、両職種の役割や課題、連携の工夫について多角的に学ぶ機会とし、薬剤師が地域医療・介護において果たすべき役割を再認識する場とする。

これらの知見を通じて、多職種との良好な関係性の構築と連携の推進を図り、薬剤師の資質向上及び地域保健医療の発展に寄与することを目的とする。

2 開催方法等

Web 会議システム（Zoom ウェビナー）を用いた講演とし、2回目は1回目の内容を録画したものを配信する。

1回目※¹：令和7年11月7日（金）午後7時00分～9時00分

2回目：令和7年12月10日（水）午後7時00分～9時00分

1回目は令和7年10月31日（金）までに、2回目は令和7年12月3日（水）までに、一般社団法人山梨県薬剤師会ホームページ※²より申し込みを行う。

※1 日本薬剤師研修センター認定対象研修会（1単位）

ただし、単位配布はライブ配信（令和7年11月7日）参加者のみ対象

※2 一般社団法人山梨県薬剤師会

https://www.ypa.or.jp/studygroup/list_ver2

令和7年11月7日 <ライブ配信>		令和7年12月10日 <録画配信>	
----------------------	---	----------------------	---

3 内容

- ① ロボットを活用した薬剤管理における訪問看護師と薬剤師の連携
講師 山梨市立牧丘病院 訪問看護室 主任 小林 梓
富士薬局 薬剤師 中山 嘉太郎
- ② ターミナルケアにおける訪問看護師と薬剤師の関わり方
講師 訪問看護ステーションほほえみ 所長 加藤 恵美
ウエルシア薬局マーケットタウン御坂店 管理薬剤師 濱田 孝和

4 対象者

薬局・医薬品販売業の管理薬剤師及び勤務薬剤師
病院に勤務する薬剤師